

2 目標達成計画

事業所名：グループホーム水沢コスモス

作成日：平成22年7月19日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合ったものです。
また、課題等は、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を掲げております。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		防火安全対策・・・当グループホーム水沢コスモスはスプリンクラー設置除外施設である。さらに建設時は自動火災報知設備、火災通報装置も設置済みで、それは通所介護施設との連動である。	消防法6項口の特例を認めてもらうためには、コスモスーアリスとの連動工事が必要である。	業者に工事発注、消防署との協議・助言を受けて指導を受け付けている最中。	6 か月
2		防火安全対策・・・避難誘導訓練を行う。	毎月行いたい。	利用者さんが、いざという時に速やかに職員の誘導に従ってもらえるよう、トレーニングの機会を回数多く作る。訓練として押し付けるのではなく、外出や気分転換の機会のような捉え方で全員参加させたい。	12 か月
3		利用者構成の変化	年数を経て利用者の入れ替わりがあった。少しづつ男性利用者の割合が高くなり、女性高齢者で構成されていた時とは私達の向き合い方に変化が求められている。	全職員で検討を重ね、抄録にまとめ、演題募集に応じ、奥州市内および全国大会で発表する。	3 か月
4		高齢利用者の生活の最後の場の提供	年数を経て、利用者の最後の生活の場となりつつある。看取りは医療に委ねるのが倫理的にも介護報酬上も妥当と考える。共に暮らす私達のみならずご家族も含めて、幸福であったと感じられる介護を提供したい。	丁寧な記録、観察、情報の共有、上申を怠らず、僅かな変化も見逃さない資質向上が必要である。上ツすべりの、のんびりゆったりなど標語に惑わされない、全人的な取り組みが必要である。演題としての取り組みも不可欠である。	12 か月
5					か月